

●市では、将来的な人口減少・少子高齢化と財政バランスの悪化、施設の老朽化と更新時期の集中という課題に対応するため、「公共施設マネジメント推進計画」を策定し、既存施設を更新する際は、原則として複合化することで延べ床面積を縮減し、持続可能な公共施設サービスの提供を目指しています

●これまで、公共施設マネジメントの取組※として、中央エリアの整備、小平第十一小学校、小平第十三小学校等の更新・複合化の取組を進めてきましたが、現在、3つの課題が生じています

## 課題

- 1 コストの急激な増加
  - ・工事費（人件費や資材費）の高騰により事業費が当初の想定より大幅に増加
  - ・各事業が100億円規模に及ぶ見込
- 2 更新時期の短期的な集中
  - ・これまで進めてきた3つの事業は、コロナ禍の影響や、検討期間や工期が当初の想定よりも長く必要となってきたことから、工事期間が令和8～15年度に集中
- 3 現在の厳しい財政状況
  - ・物価高騰の影響等により、市の財政運営の見通しは、大変厳しい状況
  - ・中央エリアの整備と小学校等複合施設2校の整備を同時期に進行するには、財源が不足

## 当面の対応策

- 1 中央エリア整備事業の一部計画変更
  - パーク・サイト（現・健康福祉事務センター敷地）の別棟（多目的室・カフェ）整備を中止する
  - シビック・サイト（現・福社会館敷地）の新たな複合施設の整備を計画どおり進める
  - パーク・サイト、カルチャー・サイト（現・中央公民館敷地）の既存の施設は解体し、パーク・サイトは交流とにぎわいのエリアとなるよう検討する
- 2 小平第十三小学校等複合施設整備の実施時期の延期
  - 学校更新事業のうち、小平第十一小学校等複合施設の設計段階がより進んでいること、施設（躯体）の状態は小平第十三小学校のほうが良好であることを踏まえ、小平第十一小学校等複合施設の整備を先行して進める
  - 小平第十一小学校等複合施設の整備完了後、財政状況を見極めたうえで、小平第十三小学校等複合施設の整備の再開を目指す
  - 延期に伴い、小平第十三小学校について、必要となる維持改修等を行う

### ※これまで進めてきた公共施設マネジメントの取組

- ▽中央エリアの整備  
老朽化が進む中央公民館、健康福祉事務センター、福社会館を複合化し、3つの施設の跡地を「ひろば」などとして一体的に整備
- ▽小平第十一小学校等複合施設  
小平第十一小学校の更新にあわせ、花小金井北公民館、花小金井北地域センターを（仮称）地区交流センターとして複合化
- ▽小平第十三小学校等複合施設  
小平第十三小学校の更新にあわせ、小川西町地域センター、小川西町中宿地域センターを（仮称）地区交流センターとして複合化

## 今後に向けて

### 次期「公共施設マネジメント推進計画」での検討

- ・令和8年度末に改定する「公共施設マネジメント推進計画」では、これまでの取組状況を踏まえた課題整理や再検討を行う
- ・今後、更新を行うと判断している公共施設については、財政負担の平準化をより強める観点が必要であり、更新を実施する優先順位等の考え方などを整理

### 財源確保に向けた取組

- ・市が使用しない跡地・跡施設等の積極的な売却と、売却収入の公共施設整備基金（貯金）への積立
- ・公共施設の効率的な運営方法の検討
- ・公共施設における財源確保に向けた取組
- ・公共施設整備に活用可能な補助金等の財源確保策の研究・検討